

2022.6.5

人間性復活運動フォーラム



79億の人が生きる世界

いま、人間として地球をどうする!?

60年ほど前、日本は高度経済成長を目標にして貧しさの脱却を計りました。いま世界196カ国中、上位3番目の経済国として各国の人々から羨望の眼差しを向けられ、世界で最も安全な国の一つと言われています。しかし、この60年間に地球上の人口が30億人から79億人へと、2倍強に増え、食べ物の生産から自動車の生産台数まで、人間として生きるために必要なエネルギーを2倍以上必要とすることから、自然環境が大きく変わったのは偶然でも、不思議でもありません。

日本人たちが、世界の人たちが、これまでと同じ生き方を続けられれば、地球環境はさらに悪化するでしょう。世界と地球を救う方法を、地域や社会、国に期待するだけでなく、私たちは人間として、世界=地球を良い方向に転換して行く一人になりたいと、今回のフォーラムを開きます。

■あいさつ

内田 渉 (人間性復活運動本部 理事)

■話題提供者

1) 人間として見た自然環境

田村尚之 出版社社員 (人間性復活運動会員)

2) 三綱五常を考える 歯科医院で起きた出来事

橋村威慶 歯科医師 (人間性復活運動会員)

3) 人間として行う農業

山本和弘 農場経営者 (WEB参加 人間性復活運動会員)

■参加者による意見交換

■司会・進行

河田英治 月刊誌編集長 (人間性復活運動会員)